月刊 かわごえ環境ネット

2015年2月号 No.100　　http://kawagoekankyo.net

2015 年 2 月 3 日発行　編集・発行：かわごえ環境ネット

コラム　川越の自然を訪ねて（29）川越の田んぼから生きものの賑わいを取り戻そう！.2
　　私のエコ暮らし（7）私の試み 3
報告　会員・流域の報告（3 題） 3-5
　　理事会・専門委員会からの報告（5 題） 6-8
予告　かわごえ環境ネットの主催・関連行事..... 8-10
　　会員・関係団体の主催・関連行事 10-13
　　広報委員会からのおしらせ.....13
　　イベントカレンダー.....14

【巻頭言】本紙 100 号、2020 年に向けて川越を知ろう・学ぼう・語り合おう

本紙、月刊「かわごえ環境ネット」は、本号で 100 号となりました。2006 年 11 月に、季刊であった「かわごえ環境ネット会員通信」（2000 年 12 月から 2006 年 7 月まで 23 号発行）から、情報発信メディアとしての立場を明確にするため、また速報性を確保するために改名と月刊化に踏み切りました。それから 8 年 4 か月、3 けたの数字に至るまで続けてこられたのは、みなさまが愛読してくださるからこそであり、また、月刊化することによって毎号多くの執筆者が記事を投稿されているおかげでもあります。この場を借りて厚く御礼申し上げるとともに、今後ともご愛顧をお願いする次第です。

さて、かわごえ環境ネットの広報のもう一つの顔は、インターネットでの情報発信です。最初の Web サイトは、2001 年 3 月ごろに開設されており、今年で 15 年目です。このたび、本紙 100 号を機に編集体制を改め、投稿いただいた原稿は Web サイトに優先して掲載することを試行しています。これを機に、Web サイト（ブログ）並びに Facebook ページ、Twitter をぜひご活用ください。

さて、2 月 21 日（土）に第 13 回かわごえ環境フォーラムが開催されます。午後の部では、4 年ぶりのワールドカフェ『かわごえカフェ 2015「かわごえを知ろう・学ぼう・語り合おう」』が開催されます。5 年後の東京オリンピック開催時（2020 年 7 月）、本紙は No.165 の予定です。あと 65 号という先の長い道のりですが、5 年後の川越の姿をそれぞれの立場で考え、意識を共有していきたいと思います。2 月 2 日から改めて参加者を募集します。会場予約の都合上、2 月 10 日までに申し込みいただければ幸いです。　　（かわごえ環境ネット理事長　小瀬博之）

月刊 かわごえ

2006 年 11 月

No.001（創刊号）

今月の主な記事

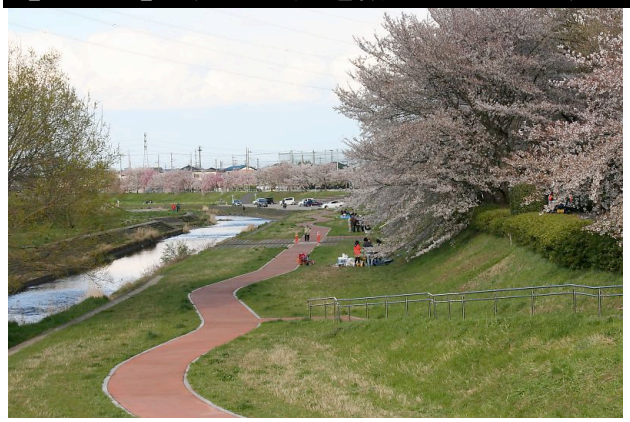
「月刊 かわごえ環境ネット」がめざすもの

月刊かわごえ環境ネット創刊号

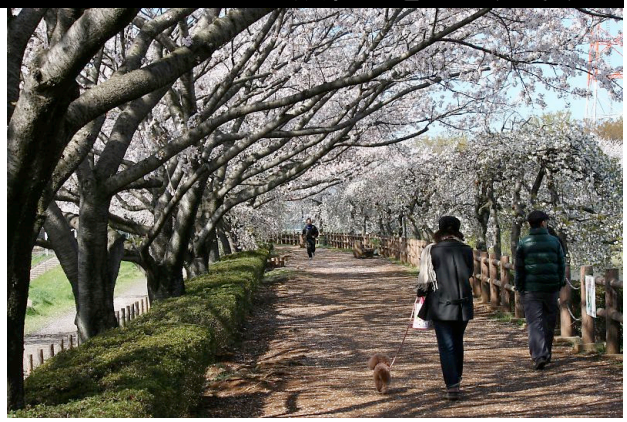
1 月リニューアルの Web サイト

2011 年 2 月開催の「かわごえカフェ」

【コラム】川越の自然を訪ねて（29）川越の田んぼから生きものの賑わいを取り戻そう！



御伊勢橋から望む小畔川の遊歩道と桜



小畔水鳥の郷公園の桜のトンネル

東京のベッドタウンとして都市化が進む川越の地にあって、川越の自然も捨てたものではありません。とりわけ小畔川や入間川流域は美しい田んぼ風景が広がります。

特に、吉田地区の田んぼは、角栄団地、伊勢原団地、吉田新町の公団住宅と、都市型大規模団地に囲まれながらもぽつんと取り残されたように田んぼが広がっています。

東武東上線霞ヶ関駅を降り角栄商店街を抜け、霞ヶ関幼稚園を右に見ながらカーブする道沿いに進んでいくと、ほどなく小畔川に架かる高橋があり、この高橋付近から御伊勢橋に至る河川敷やその北側に広がる吉田の田んぼには、都市近郊の里山と言えるような風景や貴重な自然が残されています。

高橋から御伊勢橋に向かう川べりは、小畔という名に相応しく小川のせせらぎの面影を残し、緩やかなカーブの遊歩道が整備され、四季折々の草花を楽しむことができます。車椅子でも散歩できるように人と自然にやさしい小道です。小畔川の河川敷ではバーベキューやのんびりと釣りを楽しむ人を見かけます。両岸の堤防は桜並木が続き川辺には葦が生え、その先の「小畔水鳥の郷公園」の周囲の遊歩道は、みごとな桜並木のトンネルとなり、春ともなれば大勢の人でにぎわいます。モズ、ツグミ、ムクドリなどの野鳥の楽園にもなっています。

この小畔川の北側に広がる吉田の田んぼ地帯の一角に、みなみかぜいきいき田んぼの会（正式名称は「川越生物多様性有機農法で地域づくりに取り組む会」）が無農薬で米作りをしている、湧水を引き込んだビオトープを備えた田んぼがあります。この有機農法の田んぼは 6 年目となり、環境にやさしい田んぼにしか見られないホウネンエビや準絶滅危惧に指定されているイチョウウキゴケ、田植え前の畔や田んぼに広がるスズメノテッポウが多く見られます。また、数が減ってきたと言われるトウキョウダルマガエルも多く見られます。このように、無農薬の田んぼの周りは、生きものいっぱいで環境にやさしい自然を提供しています。

田んぼの北側はなだらかな傾斜地になっており、その傾斜地が水を貯え、白髭神社のすぐ近くに小さな湧水池に流れ込んでいます。池の傍には昔雨乞いをしたといわれるお瀧様と呼ばれる石像が立てられ、その池から用水路を通って田んぼに湧水が引き込まれています。

小畔川は、昔は現在の田んぼ地帯をくねくねと蛇行して流れており「小畔九十九曲がり」と呼ばれ、水車によって水が引き込まれ河川と田んぼが一体となった環境豊かな稲作地帯だったそうです。このため、吉田地区は、昭和 30 年頃まではホタルが飛び交う環境豊かな地域だったようです。

みなみかぜいきいき田んぼの会では、吉田地区で生きものいっぱいの生物多様性による有機稲作を行っており、昨年、筆者が立ち上げた「かわごえ里山イニシアチブ」は、この吉田地区をモデルに、川越の田んぼからコウノトリ育む農法で環境にやさしい田んぼをめざして活動しています。小さな取り組みの第 1 歩ですが、生物多様性豊かな里山をこの川越の地から発信していけることを願っています。大きな輪となって川越の田んぼから生きもののにぎわいを取り戻そうではありませんか！　　（増田純一）

【コラム】私のエコ暮らし（7）私の試み

石けん作り風景

生ごみ処理対策

公民館の講座で生ごみが肥料になるという EM を紹介した家庭菜園の勉強会に行きました。平成 5 年に EM 青葉の会が発足し今日に至っています。

生ごみを活かすのに EM の他には段ボール堆肥というのが手軽にできそうです。ミカンの段ボール箱（10kg 位）に腐葉土 5kg、米ぬか 3kg を混ぜ床にし、細かめにした生ごみに米ぬかを混ぜ床に入れてかき混ぜる。箱は布でおおい虫をよける、暖かい所に置く。

詳しくは、農文協『農家に教わる暮らし術』を参考にしてください。

ごみは分別して、紙類、プラスチックとしてリサイクルに回すようにしています。

また、洗剤にこだわっています。使うのは石けんで合成洗剤は使いません。食器を洗う時はシリコンのヘラや新聞紙で汚れをぬぐい取ってから、洗濯は下洗いをします。水だけでもけっこう汚れは落ちます。その後、汚れに溶かした粉石けんをぬってつまみ洗い、百均のたらいの中で踏み洗いをしています。すすぐ前に 1 回軽く脱水をし、たらいに戻し、すすぎ、脱水です。洗濯機の洗い上りに不満でしたが、今はこれに落ち着いています。

生活排水は川や海へ流され、石けんは 1 日で水と二酸化炭素に分解され、石けんカスは微生物のエサになります。その点合成洗剤は 21 日で 8 割分解、10 年以上完全分解されず留まっています。生物に悪影響を及ぼし環境を破壊しているそうです。

できれば、石けんを使いましょう。そして、洗剤は必要最小限だけ使うように心がけましょう。

小さなことでもみんなでやればきっと環境はよくなると思います。

（大川原和江）

【報告】会員からの報告

成人式会場クリーン活動

クリーン&ハートフル川越

社会環境部会とクリーン&ハートフル川越は、1 月 12 日に成人式会場の川越運動公園でクリーン活動を行いました。

今年も川口啓介市議会議員が例年通り参加し、式典の始まる直前まで活動、6 回連続参加の最年少の山野さん、初参加の井口、高橋、石川さん等も含め 13 人の参加者でした。ちなみに昨年は 7 名。

参加者は 11 時に集合し、リーダーの渡辺利衛さんの段取りにより、「歩きタバコ・ポイ捨てなくしましょう」のゼッケンを着けて、式典会場の総合体育館前の広場、緑地、駐車場、周辺道路のポイ捨てごみを拾いながら、今年の新成人にたばこの吸殻やごみのポイ捨てをしないよう

に啓発活動を行い、15 時に解散しました。

参考までに新成人のデータは次の通りです。

● 今年の新成人　3,613 人
（女性 1,728 人、男性 1,885 人）
川越市の人口　349,317 人
新成人の比率　1.03%

● 20 年前の新成人　6,229 人
当時の川越市の人口　316,694 人
新成人の比率　1.96%

20 年前と比べると、人口が増加しているにもかかわらず、新成人の数が半分近くになっており、少子化の傾向が顕著に表れています。

（菊地三生）

参加者の集合写真

新成人に携帯灰皿を配布する武田さん

配布した携帯灰皿　約 250 個

新成人の間を縫ってごみ拾い

休憩、熱いお茶で暖を取りながら談笑

吉田・笠幡・福田 3 地区田んぼからの報告　　かわごえ里山イニシアチブ

第 2 回説明会参加者（後列中央筆者を除く）

第 1 回説明会参加者（前列、後列右）

前月号で紹介した“川越の輪”を意味する「“かわわ”シェア田んぼ」1 号田が幸先の良いスタートを切りました。12 月と 1 月の 2 回に分けて説明会と現地研修会を開催したところ募集口数の 10 口がほぼ埋まりました。

池袋、越谷、遠くは横浜などから参加され、農的な生活で人生の大切な何かを得たい、無農薬米を家族みんなで自給したい、田んぼでわくわくどきどきする体験をしたいなど、田んぼに対する思いは皆それぞれですが、今後に期待できる説明会となりました。

「かわわシェア田んぼ」は 1 枚の田んぼを非

農家のみんなで、無農薬で米作りをする小さな第 1 歩ですが、休耕田を減らし生きものの賑わいを取り戻す大きな第 1 歩となることでしょう。

かわごえ里山イニシアチブとしては、今後応募希望者に応じて 2 号田、3 号田と企画していきます。

また、吉田の田んぼでは非農家による取り組み、福田の田んぼではふゆみず田んぼやはるみず田んぼによる大規模農家さんによる取り組みと、生きものの賑わいを取り戻す活動を推進していきます。今後の田んぼの問題解決の試金石ともなりそうです。

（増田純一）

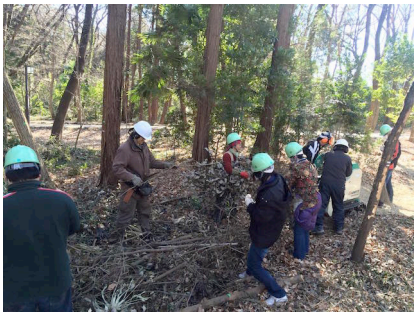
チップ化・薪割り体験　　こもれびの森・里山支援隊

参加者の集合写真

薪割り体験

できた薪

チッパーを用いたチップ化


伐採した枝をひたすら入れる

見通しのよくなった「こもれびの森」

東洋大学川越キャンパスの「こもれびの森」を里山に戻す活動を展開している「こもれびの森・里山支援隊」。1 月 10 日（土）は、9:30 から 15:30 ごろまで 23 名の参加により、「伐採木のチップ化」「薪割り体験」「刈払い」の 3 つを同時並行で実施しました。

今回は、鶴ヶ島市の市民の森などで保全活動を行っている NPO 法人つるがしま里山サポートクラブから 4 名にご参加いただくとともに、チッパーを借りて、これまで伐採した木や枝のチップ化を行いました。

鶴ヶ島駅からの通学路であるこもれびの道沿いからも、森の変化がだいぶわかるようになりました。今回の施業により、特に駅から校舎に向かって右側（南側）の刈払いにより大きく景観が変化しました。

また、伐採木のチップ化作業により、こもれびの森北側にあった古道両脇の伐採木はほぼ取り除かれ、とてもすっきりとした景観になりました。

好評の薪割り体験は、主にコナラの伐採木を用いて行っていただきました。できた薪は持ち帰る方もいらっしゃいました。

次回 2 月 7 日（土）9:30-15:30 は、いよいよ今年度の最終回となる公開森林施業を実施します。初めて午前に枝打ち体験を実施することになりました。大きな木の枝を打つ作業はなかなか経験できません。ぜひこの機会に体験してみてください。詳しくは「おしらせ」または東洋大学ホームページをご覧ください。

http://www.toyo.ac.jp/site/ecocampus/62687.html

【報告】理事会・専門委員会からの報告

理事会

1 月 28 日（水）14:45-16:20 に耐震工事のため暖房がなく寒さがこたえる中、第 10 回理事会が川越市役所 7D 会議室で開催されました。今年度最大の事業であるかわごえ環境フォーラムを前にして、この円滑な実施と次年度の計画も視野に入れた議論となりました。

次年度に川越市環境基本計画が策定され、その後に川越市環境行動計画「かわごえアジェンダ 21」の策定が行われる時期となり、これまで以上の取組が必要となっています。

①総会は 5 月 23 日（土）を第 1 候補としました。総会議案書は、3 月までの部会討議、拡大事業運営委員会（3 月 25 日）までの文書化、4 月における 2 回の理事会を経て決定予定です。

②理事は、「（仮称）第三次川越市環境基本計画の策定に向けた行政への提言」の内容を今一度確認して、意見することとしました。

③川越市より環境審議会委員の推薦依頼があり、継続して横山副理事長を推薦しました。

④社会環境部会からは、司会の担当制で活性化しているという報告がありました。自然環境部会は、膨大な生き物データベースの構築に取り組み、環境基本計画への反映をめざしています。

⑤会員数は個人会員が増加し、過去最高の会員数となりました。

（副理事長　過昌司）

社会環境部会

1 月定例会は 1 月 9 日（金）福田ビル 3 階にて 13 名の参加で行われました。

1.報告事項

①事業運営委員会・理事会の検討・決定事項

②第 13 回かわごえ環境フォーラム（2 月 21 日）の決定事項（疑問、要望など活発な意見が出されました）

③エコドライブ教習会実施報告

参加希望者 12 名（当日 1 名欠席）実質 11 名参加。参加者の中に 80%も改善した方がいた。

④歳末まち美化活動報告：30 名参加

2.確認事項

①成人式、クリーン活動（1 月 12 日）：活動時間と内容説明

②河南親水公園整備：1 月 23 日（金）9:30-11:30（雨天の場合 1 月 26 日）

③本誌の「私のエコ暮らし」の投稿者の再確認

④次回、2 月の議事進行は浜尾さんに依頼

3.その他

①理事会、市民からの情報提供の依頼

②北公かんきょうネットの講演会（3 月 5 日）「健康とエコ生活について」

③ネットワーク「地球村」講演会（2 月 1 日）「コスタリカ」に学ぶ

④松岡、（公財）日本教育公務員弘済会埼玉支部、生涯学習実践作文受賞報告

⑤会費の用途について

新年にあたり、一人一人の抱負を伺いました。自分の力を入れて行きたいこと、広めていくためになど、いろいろな面から語ってくださいました。

（社会環境部会　代表：原嶋昇治、
報告：松岡壽賀子）

自然環境部会

1 月例会は福田ビル 3 階にて 8 名の参加で開催されました。

①活動報告

・「（仮称）川越市森林公園」計画地定例調査・保全活動：12/22（月）12 名参加　帰り道にノ

スリと遭遇。

・「池辺公園」定例活動：1/6（火）6 名参加　除伐とごみ清掃

・キノコ編集会議（第 2 回）：12/19（金）さわやか活動館 5 名参加

・小仙波の「ホタルの里」づくりはザリガニの除去がたいへん

②協議事項

・「生物多様性」講座（川越市主催）に自然環境部会が協力

・次期環境基本計画・アジェンダ勉強会の報告についての意見

・来年度の事業計画

③その他

・県民参加モニタリング調査の 3 か所の報告を提出

・なぐわし公園のビオトープは進んできている。希少沈水草本の移植が必要。

（自然環境部会代表　賀登環）

かわごえ環境フォーラム実行委員会

第 4 回かわごえ環境フォーラム実行委員会を 1 月 28 日（火）13:00-14:40 に川越市役所 7D 会議室において開催しました。出席者は事務局を含め 9 名でした。 主な議事は次のとおりです。

①「環境活動報告集」、プログラム、及びチラシは入稿した。

②環境活動報告の発表は 10 件、報告集の投稿数 18 件、パネル展示は 5 団体となった。

③午後の部 “かわごえカフェ 2015「2020 年に向けて川越を知ろう・学ぼう・語り合おう」”のテーマは“自然と調和する小江戸川越まちづくりを考えよう”とする。

④会場となる食堂との折衝は、2 月 9 日 14:00 から小瀬理事長、横山副理事長が行う。

⑤協賛事業者は 6 社で昨年より 1 社少ない。広告は入稿した。

⑥「環境活動報告集」は 2 月 13 日までに納品可能である。費用はページ数が少ない分見積もりより減額されると考える。

⑦参加者は現在 37 名程度である。有力団体への働きかけをする。申し込み方法をわかりやすくするために「申込書」を添える。

⑧川越市の後援手続は進められている。

⑨ポスターは公民館用として 20 部、30 日までに用意する。チラシは 300 部程度用意し、ネット会員のほか、環保連などにも配布する。

⑩招待状は 2 月 10～15 日までに送付する。

⑪実行委員のフォーラム当日の集合時間は 8:00 とする。終了は 19:30 で長丁場となる。前日の準備の集合時間は 15:00～17:00 で多くの参加を期待する。

⑫当日の主なキャスティングは、午前の司会は菊地、午後は村上。講師紹介は小瀬理事長、かわごえカフェ進行役は飯島理事、閉会の挨拶は過副理事長、懇親会司会は原嶋理事とする。

（実行委員　村上正明）

幼児向け環境教育プログラム作成委員会

1 月 20 日（火）10:00-11：30 に、第 3 回幼児向け環境教育プログラム作成委員会を、市役所地下修養室にて行いました。賀登委員、松尾委員、森下委員、横山委員、飯島事務局の 5 名参加で行いました。

第 2 回委員会では、3 候補のキャラクターのうち、五百羅漢のキャラクターが選択されましたが、その一方で懸念された宗教色について、行政、保育園園長等に確認した内容（特段宗教上の問題はない）を提示しました。なお、本委員会でも、松尾委員から、平成 18 年に改訂された教育基本法によると、第 15 条に宗教教育についての項目があり、「宗教に関する寛容の態度、宗教に関する一般的な教養及び宗教の社会生活

における地位は、教育上尊重されなければならない。」とされていることや、第 2 条 5 には、「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。」という一文があることから、過敏になることはないのではないかという意見がでて、本委員会内の見解として、宗教上の問題を検討したが、問題なしということで扱うこととなりました。

従いまして、キャラクターは五百羅漢を参考に、キャラクター名は「らかんさん」で決定しました。

なお、本委員会では、キャラクターを決定しましたが、これを具象化したプログラムをつくることについては、来年度の保育課の方針を確認してから活動することとし、次回委員会の日程を確定することなく、必要なときがきたら、その時点で日程調整し、委員会開催することとなりました。

幼児向け環境教育プログラムはすでに、こどもの根っこを育てる会で「森のムッレ教室」のプログラムがあること、このプログラムで登場するムッレというキャラクターをらかんさんキャラクターに変更することで、対応は早いという判断です。なおかつ、らかんさんキャラクターを本委員会で創り上げることよりも、むしろ使用する保育士が自由に創造していくことで、最終利用者の保育士自身がキャラクターに愛着を持っていただくことができ、利用してもらいやすいと判断したためです。

（事務局　飯島希）

【予告】かわごえ環境ネットの主催・関連行事

【トピック】「第 13 回かわごえ環境フォーラム」2 月 21 日（土）開催

第 13 回かわごえ環境フォーラム開催概要

日時：2015 年 2 月 21 日（土）

場所：東洋大学川越キャンパス

学生ホール食堂棟 1 階（川越市鯨井 2100、東武東上線鶴ヶ島駅から徒歩 15 分）

プログラム

9:30-11:50　午前の部：環境活動報告会（無料・参加自由）

13:00-16:30 午後の部：かわごえカフェ（喫茶代 500 円・要申込）

・基調講演：「小江戸川越ものがたり」

講師：粂原恒久先生（蓮馨寺住職、公益社団法人小江戸川越観光協会会長）

・かわごえカフェ（喫茶を楽しみながらテーブルごとの話し合い）

テーマ：自然と調和する小江戸川越のまちづくりを考えよう

17:00-19:00 夜の部：交流会（飲食代 2000 円・要申込）

「かわごえカフェ」ってなに？

カフェにいるときのようなリラックスした雰囲気の中で喫茶を楽しみながら、テーマに集中した対話を行うことができる「かわごえカフェ」。「ワールドカフェ」形式の話し合いにより、メ

ンバーの組み合わせを変えながら 4 人前後の小グループで話し合いを続けることにより、あたかも参加者全員が話し合っている効果が得られます。

4 年ぶりとなる今回は、かわごえカフェ 2015「2020 年に向けて 川越を知ろう・学ぼう・語り合おう」と題して、東京オリンピックを迎える 2020 年に向けて、「自然と調和する小江戸川越まちづくりを考えよう」というテーマで語り合います。

自然は、自然環境、文化、歴史、食文化、人、精神性など、地域が育んできた万物、森羅万象を表します。川越のいいところ、紹介・案内したいところを話し合い、案内ツアーコースを作ることをめざします。

午前の部：環境活動報告会

1. ふくはら子どもエコクラブ：見る・知る・行う地元のくらしと自然
2. 猪俣昇・過昌司：川越のチョウー５年間の調査から
3. 大久保彦：埼玉 RDB3 種とオオオニテングタケ
4. 増田純一・小瀬博之・田崎愛知郎（かわごえ里山イニシアチブ）：持続性のある環境保全と里山保全を目指した田んぼ活動の提案！
5. みなみかぜいきいき田んぼの会（川越生物多様性有機農法で地域づくりに取り組む会）：田んぼ発いきいき地域づくり
6. 小高稜太・黒田優・小瀬博之・椿光太郎（東洋大学）：植物種によるグリーンカーテンの生育及び環境・心理的効果の比較
7. 関根加奈・渡邊宗誉・小瀬博之・大場善次郎（東洋大学）：大学と市民の協働による川越キャンパスの森林保全推進に関する研究
8. 油井佳愛・小瀬博之・尾崎晴男（東洋大学）：地域の協働と環境保全型稲作による耕作放棄地の再生
9. 社会環境部会：社会環境部会を中心とした活動
10. 自然環境部会：自然環境部会を中心とした活動

申込方法（準備の都合上 2 月 10 日までに申込いただければ幸いです）

① 氏名、連絡先（住所, 電話番号, Fax 番号, E-mail）、参加区分（カフェ, 交流会, 両方）を明記して、かわごえ環境ネット事務局（川越市環境政策課環境推進担当）Fax.049-225-9800、E-mail: cafe@kawagoekankyo.net へ（または電話 049-224-5866 へ連絡）

② 【かんたん】かわごえ環境ネット Facebook ページ「イベント」から申込

https://www.facebook.com/kawagoekankyonet/events

お願い

＊参加費は当日お支払いください。

＊駐車場は限りがあります。自動車でのご来場はご遠慮ください。

開催組織

主催：　かわごえ環境ネット
後援：　川越市
特別協賛：　東洋大学
協賛：　パイオニア株式会社
トーヨーケム株式会社
武州ガス株式会社
株式会社環境総合研究所
武州製薬株式会社
川木建設株式会社

最新情報は Web でおしらせしています。
http://forum.kawagoekankyo.net

◆かわごえ環境ネット会員募集　会員になると、本紙「月刊かわごえ環境ネット」を毎月お送りします。1 月から 3 月の入会者は、年会費個人会員 1,000 円、団体会員 2,000 円が 4 月からの請求となります。詳細は、かわごえ環境ネット事務局（環境政策課環境推進担当、Tel.049-224-5866）に問い合わせるか、Web ページ（http://kawagoekankyo.net）をご覧ください。

かわごえ環境ネット主催・関連行事一覧（記号の凡例はイベントカレンダーをご参照ください）

会合

●社会環境部会（2015 年 2 月度）

日時：2 月 13 日（金）13:00-15:00

場所：福田ビル 3 階会議室（川越市郭町 1-2-3）

●自然環境部会（2015 年 2 月度）

日時：2 月 13 日（金）15:00-17:00

場所：福田ビル 3 階会議室

＊両部会は、毎月第 2 金曜日の 13:00-15:00, 15:00-17:00 の連続開催

＊次回は 3 月 13 日（金）福田ビル 3 階会議室

＊会員ならばどなたでも参加できます

◆広報委員会（2015 年 2 月度）

日時：2 月 19 日（木）9:00-10:00

場所：川越市役所 5 階フリースペース

◆かわごえ環境フォーラム実行委員会（2014 年度第 5 回、会場設営）

日時：2 月 20 日（金）15:00-17:00

場所：東洋大学川越キャンパス学生ホール食堂棟 1 階（川越市鯨井 2100）

◆事業運営委員会（第 5 回）

日時：2 月 27 日（金）9:00-10:30

場所：福田ビル 3 階会議室（川越市郭町 1-2-3）

＊次回は 3 月 25 日（水）9:00-10:30 福田ビル 3 階会議室において拡大事業運営委員会（同委員、各専門委員会役員対象）として開催

◆理事会（2014 年度第 11 回）

日時：2 月 27 日（金）10:30-12:00

場所：福田ビル 3 階会議室

＊次回は 3 月 25 日（水）10:30-12:00 福田ビル 3 階会議室

●川越市環境基本計画・かわごえアジェンダ 21 見直し勉強会（第 11 回）

日時：2 月 27 日（金）13:30-15:00

場所：大黒屋食堂（川越市仲町 5-2）

＊会員であればどなたでも参加できます

全体行事

★第 13 回かわごえ環境フォーラム【トピック】

日時：2 月 21 日（土）9:30-19:00

場所：東洋大学川越キャンパス 学生ホール・食堂棟 1 階（川越市鯨井 2100）

自然環境部会主催行事

★池辺公園定例活動（毎月第 1 火曜日）

日時：2 月 3 日（火）、3 月 3 日（火）9:00-12:00

場所：池辺公園（川越市池辺 1302）

問い合わせ：菅野

★（仮称）川越市森林公園計画地 植物調査・保全作業（毎月第 2・第 4 月曜日）

日時：2 月 9 日（月）、2 月 23 日（月）、3 月 9 日（月）、3 月 23 日（月）9:30-12:30

集合：9:30 川越南文化会館（ジョイフル）（川越市今福 1295-2）

問い合わせ：賀登（049-234-9366）

【予告】会員・関係団体の主催・関連行事

NPO 法人武蔵丘陵森林公園の自然を考える会

問い合わせ：谷津弘子（Tel.&Fax.049-224-9118, foresth@nifty.com）

◎森林公園かんさつ会

①2 月 1 日（日）・6 日（金）

要項：考える会主催、国営武蔵丘陵森林公園南口休憩所（入園前受付）10:20 集合、15:00 ごろ終了解散。入園料要、参加費 200 円。お弁当持参、雨天決行。

野鳥や冬越しの昆虫の観察と調査を行います。暖かい服装でおでかけください。

②3 月 1 日（日）

要項：①と同じ

野鳥や春の訪れを知らせる野草の観察と調査を行います。

③3 月 22 日（日）

要項：公園主催、考える会協力、国営武蔵丘陵森林公園南口（入園後受付）10:20 集合、15:00 ごろ終了解散

春の野草を中心に観察します。植物の解説は太田先生です。

福原ファームクラブ

問い合わせ：横山三枝子（Tel.049-246-9319）

◎おいしく・楽しく農業体験

①2 月 14 日（土）9:30-12:30 ごろ（21 日予備日）

内容：雑木林の手入れ・落ち葉掃き

②3 月 14 日（土）9:30-12:30 ごろ

内容：雑木林手入れ　焼き芋・スープ・あそぼうパン（お椀、箸持参）

場所：明見院（川越市今福 677）近く

内容：農作業（B 級品のお土産付き）

会費：保険代 100 円、クラブ員 1 家族 1,000 円（年間）

みなみかぜ いきいき田んぼの会（川越生物多様性有機農法で地域づくりに取り組む会）

問い合わせ：社会福祉法人健友会 地域交流センターみなみかぜ 後藤（Tel.049-234-8500[9:00-17:00], Fax.049-239-5646, E-mail: tanbo373@yahoo.co.jp, 359-0807 埼玉県川越市吉田 204-2）

いつからでも、誰でも参加でき、活動の 1 回体験も可です。農作業では特に団塊世代の仲間を求めています。仲間づくりしませんか？

◎農作業

日時：2 月 6 日（金）、7 日（土）、20 日（金）、27 日（金）10:00-12:00

冬期は毎週金・土曜日。地域交流センターに集合。農作業は近隣の田んぼです。

◎月例会

日時：2 月 13 日（金）10:00-12:00

（3 月は調整中）

◎催し

日程調整中の催しについては、詳しくは問い合わせ先までご質問ください。

①2 月 21 日（土）

かわごえ環境フォーラム発表参加

②2 月（調整中、下旬の土曜日）9:30-11:30

むかしあそびの会を計画しています。たこを作って田んぼで揚げよう！その他お手玉や竹細工、わら細工コーナーなどあり。

③3 月（調整中、下旬の土曜日）午前

田んぼ活動オリエンテーション。当会の楽しい 1 年をご紹介します。田んぼ見学もあります。

かわごえ里山イニシアチブ

問い合わせ：増田純一（E-mail: kawagoesatoyama@gmail.com, Tel./Fax.049-234-5269）

「かわごえ里山イニシアチブ」では、生物多様性育む田んぼの保全を目的に、みんなで連携して無農薬による米作りを支援し、生きものにぎわいを取り戻す活動を行っています。

今年から「かわわシェア田んぼ」や「有機稲作ポイント研修」を企画しています。ぜひあなたも農的な生活をしながら無農薬によるお米を自給する企画に参加してみませんか！

◎理事会

日時：2 月 28 日（土）15:30-17:00

場所：地域交流センターみなみかぜ会議室（川越市吉田 204-2）

内容：これまでの活動経緯と今後の活動計画に

ついて話し合います。役員の他、田んぼ活動に興味のある方ならどなたでも参加可能です。生きものいっぱいの川越の里山づくりにみんなで連携して盛り上げていきましょう。

◎かわごえ里山 2015 田んぼフォーラム

日時：3 月 14 日（土）13:00-17:00

場所：川越市伊勢原公民館（埼玉県川越市伊勢原町 5-1-1）

内容：民間稲作研究所代表の稲葉光國氏に「生きものの多様性を活かした抑草と病害虫防除技術」と題して長年の研究によって確立された誰でも出来る有機稲作技術で、除草剤を全く使わない低コスト抑草技術のノウハウや有機稲作の最新の事例を交えて講演いただきます。また、食楽風土（クラフード）渋谷代表の林鷹央氏に「田んぼの生きもの調査の意義と方法～生物多様性を考えよう～」と題して生物多様性についてわかりやすく解説していただき、誰でもできる生きもの調査の方法について講演していただきます。

東洋大学小瀬研究室（総合情報学部、こもれびの森・里山支援隊）

問い合わせ：小瀬博之（E-mail: hkose@toyo.jp, Tel./Fax.049-239-1532）

◎総合情報学部 地域活性化プロジェクト 2014 公開成果報告会（川越 霞ヶ関北地区，川越 中央通り「昭和の街」周辺地区）

日時：2 月 2 日（月）13:10-16:20

場所：東洋大学川越キャンパス 7 号館 総合情報学部棟 1 階 PC 演習室（川越市鯨井 2100）

費用：無料

参加方法：当日直接会場（途中参加、退出可）

詳細：東洋大学総合情報学部 Web サイト（http://www.toyo.ac.jp/site/isa/61394.html）

◎こもれびの森・里山支援隊 公開森林施業

日時：2 月 7 日（土）9:30-15:30

（午前または午後のみの参加も可能）

＊午前は 9:30 集合、9:45-11:45 体験、午後は 12:45 集合、13:00-15:00 体験、15:30 解散

集合場所：東洋大学川越キャンパス 4 号館こもれびの道側入口付近

内容：こもれびの道周辺の森の刈払い、刈払いで発生した木・葉などの片付け

費用：無料

申込・問い合わせ：終日参加される場合は昼食を用意します。2 月 4 日（水）までご連絡ください。

＊詳細：東洋大学エコキャンパス Web サイト（http://www.toyo.ac.jp/site/ecocampus/62687.html）

＊中止等案内（https://twitter.com/toyokomorebi/）

クリーン&ハートフル川越

問い合わせ：渡辺利衛（Tel＆Fax.049-242-4322）菊地三生（Tel.080-5546-2362）

◎「やめましょう！歩きタバコ・ポイ捨て・自転車放置」のゼッケンや「かわごえ環境ネット」の腕章をつけて、まち美化啓発運動

①第 1 火曜日・第 3 木曜日

日時：2 月 3 日（火）・19 日（木）13:30-15:00

3 月 3 日（火）・19 日（木）13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から川越市役所まで。

②第 2 日曜日

日時：2 月 8 日・3 月 8 日（日）9:30-11:00

本川越駅交番横から各方面に分かれて活動、中央公民館でごみまとめ。

③第 4 土曜日

日時：2 月 28 日・3 月 28 日（土）13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から本川越駅まで。ペペ地下のごみ収集所で分別、解散。

◎川の国応援団・新河岸川市内流域の清掃

原則として第 4 日曜日 9 時より 2 時間。参加できる人は、担当箇所分担の割り振りのため、実施日の 3 日前までに渡辺へご連絡ください。

2 月 22 日（日）9:00-11:00

新河岸川中流部、貝塚橋横集合。下流の精進橋まで。ゴミは終点近くの施設に集めて解散。

3 月 22 日（日）9:00-11:00

新河岸川広域景観づくり連絡会と共同で流域一斉清掃を上・中・下流域で実施。

① 上流部は赤間川公園前

② 中流部はベルク裏の川より

③ 下流部は新扇橋・旭橋・川崎橋各右岸横

◎「第 2 回新河岸川いい川づくり勉強会」

日時：3 月 7 日（土）13:30-16:30

場所：川越市北公民館（川越市氷川町 107）

昨年の第 1 回の勉強会に続いて、具体的な提案や問題点の指摘など。実行委員会で実施。

◎「川のまるごと再生事業・川越地区の見学会」

日時：3 月 15 日（日）10:00-15:00

伊佐沼横の荒川右岸用排水組合事務所出発、整備された遊歩道を回って菅間堰魚道見学、釘無橋田本からバスで本川越駅まで約 10km 歩き。詳細は次号。

公益財団法人 埼玉県生態系保護協会 川越・坂戸・鶴ヶ島支部

問い合わせ：笠原啓一（Tel.049-222-0957）、当日の携帯電話連絡（Tel.080-6584-3010）

◎伊佐沼でバードウォッチング（毎月第 2 日曜日）

集合：伊佐沼西岸蓮見橋 10:00、解散は集合場所で 12:00 ごろ。持ち物：筆記用具、あれば野鳥図鑑・双眼鏡・防寒具・飲み物。参加費：300 円、高校生以下 100 円（保険料・資料代）

①2 月 8 日（日）10:00-12:00（小雨決行）

沼は全面氷結し、晴れた空は青く澄み、富士山は美しく見えます。カモ、カワウは羽をきれいに飾って氷の上で休んでいます。一番寒い時ですが負けないで参加してください。

②3 月 8 日（日）10:00-12:00（小雨決行）

春がそこまできています。草にも木にも。北の国からきたカモやツグミたちは帰り始めました。シジュウカラなど小鳥たちは囀り始めます。小さな春を探しましょう。

NPO 法人荒川流域ネットワーク

問い合わせ：鈴木勝行（Tel. 090-7804-5722, E-mail: k_suzuki@pk2.so-net.ne.jp）

◎第 19 回荒川流域再生シンポジウム

日時：3 月 14 日（土）13:00-16:30

場所：国立女性教育会館（嵐山町菅谷 728、東武東上線武蔵嵐山駅徒歩 10 分）

参加費：無料

テーマ：自然溯上のアユを復元するための連携について語ろう

今回も、6 年間のアユの標識放流調査と流域一斉水質調査の結果、現在進められている入間川での溯上環境改善事業を報告するとともに、荒川流域でのアユの自然溯上復元への取組と、関係する団体の相互の連携について語り合いたいと思っています。ぜひおいでください。

広報委員会からのおしらせ

●本紙への原稿投稿を受けつけています

2015 年 3 月号（No.101，2 月末日発行予定）の掲載原稿は、2 月 15 日（日）必着です。電子データでいただけるととても助かります。原稿と写真は編集担当共有のメールアドレス（koho@kawagoekankyo.net）にお送りください。メールを使用していない方は、かわごえ環境ネット事務局（環境政策課、川越市役所本庁舎 5 階）に提出ください。

●おことわり　本紙の記事は、各著者の寄稿及び広報委員会の編集によって構成されていますが、これらは、組織の公式な見解を示すものではありません。また、本紙は寄稿及び作成時点までの信頼できると各種情報に基づいて作成し、正確性の確保に努めていますが、その正確性に対してかわごえ環境ネットは責任を負いません。本紙は読者ご自身の判断と責任で利用いただき、本紙を利用することで生じたいかなるトラブルおよび損失、損害に対して、かわごえ環境ネットは一切責任を負いません。

イベントカレンダー（2 月 1 日～3 月 28 日）

日	月	火	水	木	金	土
★：会員内外対象の公開・出展・後援イベント ●：会員全員が対象の総会・部会・イベント ◆：理事・委員等が対象の理事会・委員会 ◎：会員主催のイベント等 ○：その他　詳細は個別の記事をご覧ください			2/4	2/5	2/6 ◎10:20 武蔵丘陵森林公園かんさつ会 ◎10:00 農作業（みなみかぜ）	2/7 ◎9:30 こもれびの森・里山支援隊 ◎10:00 農作業（みなみかぜ）
2/8 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐沼でバードウォッチング	2/9 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地調査・保全作業	2/10	2/11 建国記念の日	2/12	2/13 ◎10:00 月例会（みなみかぜ） ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	2/14 ◎9:30 おいしく楽しく農業体験
2/15 ○本紙 3 月号入稿期限	2/16	2/17	2/18	2/19 ◆9:00 広報委員会 ◎13:30 まち美化啓発運動	2/20 ◎10:00 農作業（みなみかぜ） ◆15:00 かわごえ環境フォーラム実行委員会	2/21 ★9:30,13:00,17:00 かわごえ環境フォーラム
2/22 ◎9:00 新河岸川市内流域清掃	2/23 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地調査・保全作業	2/24	2/25	2/26	2/27 ◆9:00 事業運営委員会 ◎10:00 農作業（みなみかぜ） ◆10:30 理事会 ●13:30 アジェンダ見直し勉強会	2/28 ◎13:30 まち美化啓発運動 ◎15:30 理事会（かわごえ里山イニシアチブ）
3/1 ◎10:20 武蔵丘陵森林公園かんさつ会	3/2	3/3 ★9:00 池辺公園定例活動 ◎13:30 まち美化啓発運動	3/4	3/5	3/6	3/7 ◎13:00 新河岸川いい川づくり勉強会
3/8 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐沼でバードウォッチング	3/9 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地調査・保全作業	3/10	3/11	3/12	3/13 ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	3/14 ◎9:30 おいしく楽しく農業体験 ◎13:00 田んぼフォーラム ◎13:00 荒川流域再生シンポジウム
3/15 ◎10:00 川のまるごと再生事業見学会 ○本紙 4 月号入稿期限	3/16	3/17	3/18	3/19 ◎13:30 まち美化啓発運動	3/20	3/21 春分の日
3/22 ◎9:00 新河岸川市内流域清掃 ◎10:20 武蔵丘陵森林公園かんさつ会	3/23 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地調査・保全作業	3/24	3/25 ◆9:00 拡大事業運営委員会 ◆10:30 理事会	3/26	3/27	3/28 ◎13:30 まち美化啓発運動

月刊 かわごえ環境ネット 2015 年 2 月号 No.100

発行日　2015 年 2 月 3 日　編集・発行（2015 年 2 月 5 日修正）　かわごえ環境ネット 広報委員会
事務局　〒350-8601 埼玉県川越市元町 1-3-1 川越市環境部環境政策課
Tel. 049-224-5866（直通）　Fax.049-225-9800　E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp
かわごえ環境ネットホームページ　http://kawagoekankyo.net/